

令和4年度事業報告

今年度もコロナ過が続き、当センターでも会員の就業停止やリモート会議など感染拡大の防止措置を何度も強いられました。また、インボイス制度の対応や物価の高騰によりセンターを取り巻く環境も不透明となりました。

毎年恒例になりつつあった「新鮮野菜市」は、コロナ過の間に会員の退会などが重なりましたが、お客様の応援や生産者の思いもあり今年度は規模を縮小した形でなんとか開催することができました。

このような苦境の中でも、「自主・自立・共働・共助」のもと、会員と役職員が一丸となり、ボランティア活動や各種講習会を開催できたことに感謝いたします。引き続き、会員増強と就業先確保を柱にして以下の事業報告をいたします。

1 組織運営体制強化

(1) 会員増強 令和5年3月末現在会員数：187名

- ・シルバー事業広報用DVDを利用した入会説明会を開催しました。
- ・センターの広報チラシを委員会で作成し配布しました。
- ・一会員一就業先開拓運動の推進をしました。
- ・ハローワーク金沢及び津幡での高齢者向け説明会を継続しました。
- ・チラシやHPを活用した会員募集・就業開拓を行いました。
- ・講習会の開催及び就業体験と合わせた会員入会促進を行いました。
- ・会員ポイントシステムの普及を行いました。
- ・退会者の抑止に努めました。

(2) 事務局体制強化

- ・役員・会員で構成された専門委員会による事業運営の取り組みを行いました。
- ・積極的な研修会参加による職員の知識能力向上の取り組みを行いました。

(3) 会員による自主運営確立推進

- ・剪定班・除草班など将来の組織構築を見据えた、会員の養成を行いました。
- ・障子、襖会員においては、技術のスキルアップを図りました。
- ・日帰り研修バス旅行などの事業企画を行いました。

2 就業機会の開拓

自主財源確保対策の最重要課題として、派遣事業を含めた受注活動の拡大に努めました。

(1) 町内及び隣接する地域の企業・事業者・一般家庭に人材派遣業務及び会員が対応可能な業務を知らせ、就業機会の開拓に努めました。

- ・ポイントシステムによる1会員1就業先紹介運動の推進を行いました。
- ・企業・事業者に対するPRと提案型営業活動の推進・強化を行いました。
- ・季節ごとに(剪定・雪吊り・除草・除雪等)予約募集活動を行いました。
- ・ホームページ及びスマホの活用による周知を行いました。

(2) 講習会開催の取り組み

石川県シルバー人材センター連合会と連携し、技能講習会参加への推進を行いました。

(3) 「高齢者スマホ教室」を開催し、SNSを活用した会員への連絡を行いました。

(4) 「高齢者交通(防犯)安全講習会」を開催しました。

(5) 内灘町及び内灘町社会福祉協議会、地域包括支援センターとの情報を共有し、地域の困りごとを支援できる団体として周知した。

(6) 内灘町と連携した「空き家管理業務」の周知及びふるさと納税返礼における「お墓清掃代行サービス業務」をご利用いただいた。

3 安全・適正就業に関する意識・知識の向上

会員各自が、「自分の命は自分で守る」という安全に対する認識を定着させ、事故0件センターを目標とした。

- ・リーダーによる朝礼・終礼の徹底や柔軟体操の励行を行いました。
- ・会員への賠償事故防止対策指示の徹底と現場管理行いました。
- ・安全・適正就業委員会を中心とした現場パトロールを月1回行いました。
- ・安全・適正就業委員会による事故原因の追究と再発防止を行いました。
- ・県シ連と連携した各種講習会を開催した。
- ・「いきいき通信」を活用した安全就業の啓発・情報発信を行いました。
- ・「安全ワッペン」の普及徹底を図りました。
- ・「適正就業ガイドライン」の遵守に努めました。

4 普及啓発活動

- ・コロナ対策を講じての「ミニ野菜市」開催によるシルバーPR
- ・会員手作りによるマスク・小物販売を行いました。
- ・内灘町役場横の除草・清掃ボランティアを実施しました。
- ・ポイントシステムと連携した一会員一就業先開拓運動を行いました。

- ・ポスターやチラシによるシルバー人材センター周知を行いました。
- ・シルバーの活動内容をお知らせする機関誌「わくわく情報局」の発行を行った。
- ・内灘町広報等による新規会員募集や季節に応じた仕事の募集などを行いました。
- ・PCやスマホを活用し、会員の就業に繋げた。

5 その他

- ・内灘町シルバー人材センターの特色を生かした新規事業の模索を行った。
- ・日帰り研修バス旅行により、リサイクルショップの調査を行った。
- ・空き家管理サービスの拡大を図った。
- ・派遣事業の拡大を図った。